

平成28年度第1四半期
厚生年金保険給付組合積立金 運用状況

 警察共済組合



目 次

1	運用実績の概要(平成28年度第1四半期)	2
2	市場環境(平成28年度第1四半期)	3
3	資産構成割合(平成28年度第1四半期)	5
4	運用利回り(平成28年度第1四半期)	6
	(参考)運用利回り(前年度)	7
5	運用収入の額(平成28年度第1四半期)	8
	(参考)運用収入の額(前年度)	9
6	資産の額(平成28年度第1四半期)	10
	(参考)資産の額(前年度)	11



1 運用実績の概要（平成28年度第1四半期）

運用収益額	▲402億円	※総合収益額
	+123億円	※実現収益額
運用利回り	▲2.97%	※修正総合収益率
	+1.04%	※実現収益率
運用資産残高	1兆2,962億円	※時価総額

※ 年金積立金は長期的な運用を行うものであり、その運用状況も長期的に判断することが必要ですが、運用に対する組合員等の理解を促進するため、また、情報公開による透明性確保の観点から、四半期ごとに運用状況の公表を行うものです。

総合収益額は、各期末時点での時価に基づく評価であるため、評価損益を含んでおり、市場の動向によって変化するものであることに留意が必要です。

（注1）収益率及び収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

（注2）上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。



2 市場環境（平成28年度第1四半期）

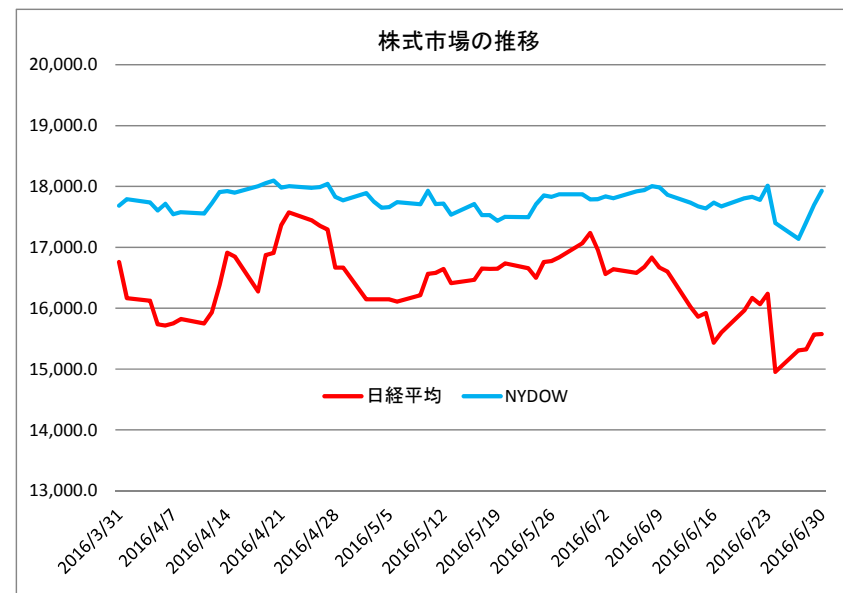
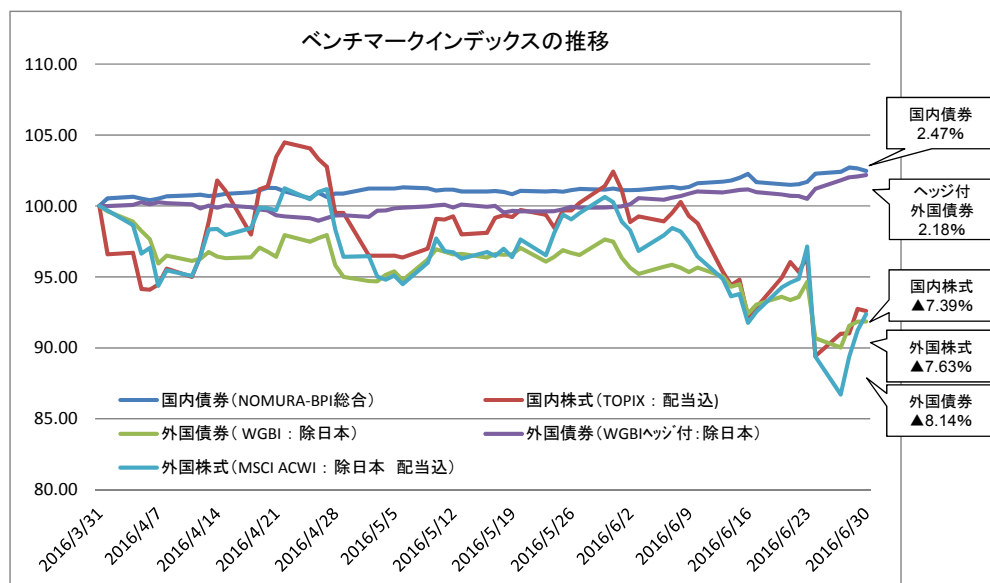
【各市場の動き：4月～6月】

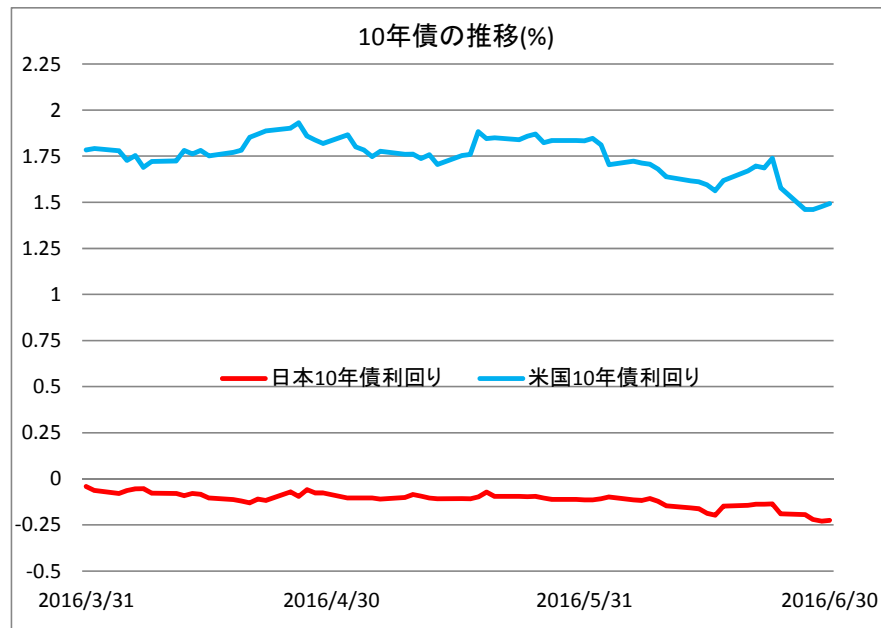
国内債券：10年国債利回りは、円高進行に伴う国内株式市場の低迷、英国が国民投票でEU離脱を決定したことなどから先行き不透明感が広がり、日銀による追加金融緩和観測が強まったことから、低下基調で推移しました。

国内株式：4月は、原油価格の上昇や日銀の追加金融緩和期待などを背景に上昇する場面もありましたが、その後は、円高進行や日銀が追加金融緩和を見送ったこと、6月下旬に英国が国民投票でEU離脱を決定したことなどから、一時的に急落するなど不安定な値動きとなりました。

外国債券：米国10年国債利回りは、4月は原油価格の上昇などを背景にした米国株式の堅調な推移を受け、上昇する場面もありましたが、その後は、雇用の増加ペースの急減速や英国が国民投票でEU離脱を決定したことなどから、追加利上げ観測が後退したことを受けて低下しました（債券価格は上昇）。ドイツ10年国債利回りは、欧州のインフレ見通しの下方修正や英国が国民投票でEU離脱を決定したことなどから低下し、6月半ばにはマイナスの利回りとなりました。

外国株式：4月は、中国の良好な経済指標の発表や原油価格の上昇などを背景に上昇しましたが、その後は、米国の雇用の増加ペースが急減速したことや中国の景況感悪化懸念などから上値の重い展開が続きました。6月下旬に英国が国民投票でEU離脱を決定したことなどから、一時的に急落するなど不安定な値動きとなりました。





参考指標		平成28年3月末	平成28年6月末
国内債券	新発10年国債利回り(%)	-0.05	-0.23
国内株式	TOPIX配当なし(ポイント)	1,347.20	1,245.82
	日経平均株価(円)	16,758.67	15,575.92
外国債券	米国10年国債利回り(%)	1.78	1.47
	ドイツ10年国債利回り(%)	0.16	-0.13
外国株式	NYダウ(ドル)	17,685.09	17,929.99
	ドイツDAX(ポイント)	9,965.51	9,680.09
	上海総合指数(ポイント)	3,003.92	2,929.61
外国為替	ドル/円(円)	112.40	102.59
	ユーロ/円(円)	128.08	113.97



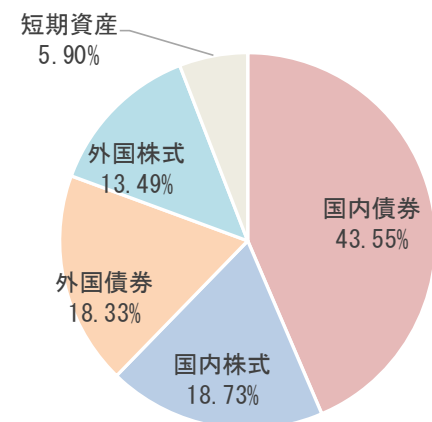
3 資産構成割合（平成28年度第1四半期）

積立金全体の資産ごとの構成割合は次のとおりです。

（単位：％）

	平成27年度 年度末	平成28年度			
		第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末
国内債券	42.65	43.55	—	—	—
国内株式	18.98	18.73	—	—	—
外国債券	18.79	18.33	—	—	—
外国株式	13.75	13.49	—	—	—
短期資産	5.84	5.90	—	—	—
合計	100.00	100.00	—	—	—

第1四半期末 運用資産別の構成割合



（注1）基本ポートフォリオは、国内債券35%（±15%）、国内株式25%（±14%）、外国債券15%（±6%）、外国株式25%（±12%）です。

（注2）ヘッジ付き外貨建て債券は、リスク・リターン特性により、国内債券に含めています。

（注3）数値を四捨五入しているため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

（注4）上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

（注5）各ファンドで保有する短期資産は、平成28年度から原則として該当する資産区分に計上しています。



4 運用利回り（平成28年度第1四半期）

実現収益率は1.04%となり、修正総合収益率(期間収益率)は▲2.97%となりました。

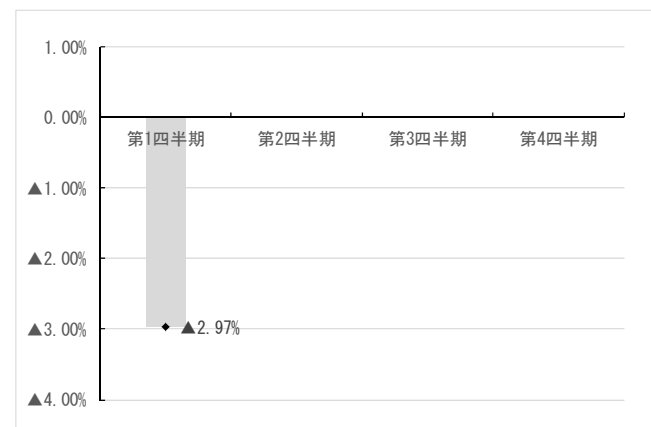
(単位：%)

	平成28年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	1.04	—	—	—	1.04
修正総合収益率	▲2.97	—	—	—	▲2.97

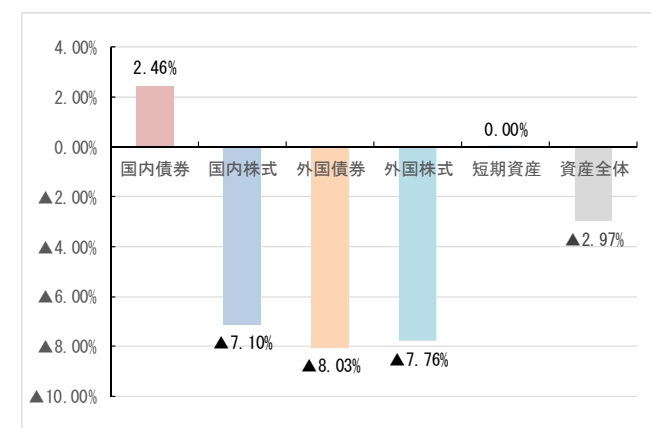
(単位：%)

	平成28年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	▲2.97	—	—	—	▲2.97
国内債券	2.46	—	—	—	2.46
国内株式	▲7.10	—	—	—	▲7.10
外国債券	▲8.03	—	—	—	▲8.03
外国株式	▲7.76	—	—	—	▲7.76
短期資産	0.00	—	—	—	0.00

- (注1) 各四半期及び年度計は、期間収益率です。
 (注2) 収益率は、運用委託手数料控除後のものです。
 (注3) 修正総合収益率は、実現収益率に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。
 (注4) ヘッジ付き外貨建て債券は、リスク・リターンの特性により、国内債券に含めています。
 (注5) 各ファンドで保有する短期資産は、平成28年度から原則として該当する資産区分に計上しています。



※棒グラフは、各四半期の期間収益率



※第1四半期の資産別の期間収益率



(参考) 運用利回り (前年度)

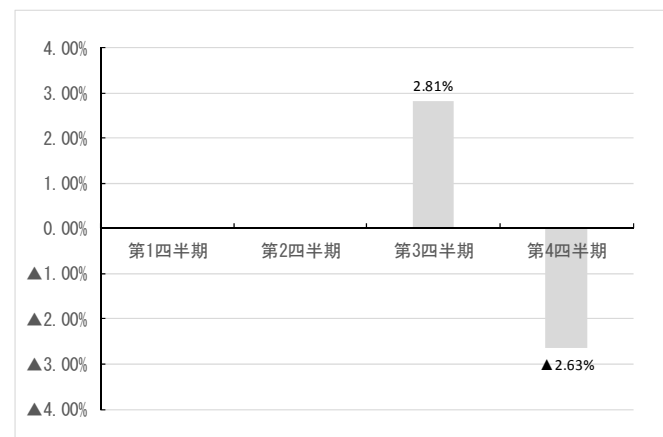
(単位：%)

	平成27年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率			1.20	0.28	1.48
修正総合収益率			2.81	▲2.63	0.11

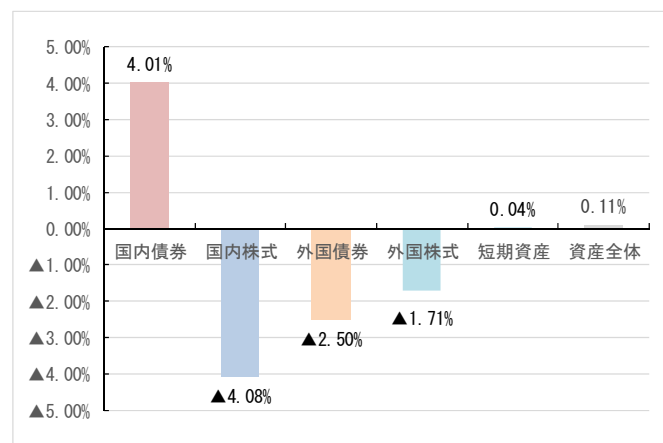
(単位：%)

	平成27年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率			2.81	▲2.63	0.11
国内債券			0.85	3.12	4.01
国内株式			9.73	▲12.66	▲4.08
外国債券			▲1.29	▲1.23	▲2.50
外国株式			5.86	▲7.11	▲1.71
短期資産			0.09	▲0.05	0.04

- (注1) 収益率は、年金制度が厚生年金保険制度に一元化された平成27年10月以降のもので、
 (注2) 収益率は、運用委託手数料控除後のものです。
 (注3) 第3四半期・第4四半期は、期間収益率です。また、年度計は、平成27年度下半期の期間収益率です。
 (注4) 修正総合収益率は、実現収益率に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。
 (注5) ヘッジ付き外貨建て債券は、リスク・リターンの特性により、国内債券に含めています。



※棒グラフは、各四半期の期間収益率



※年度計の資産別の期間収益率



5 運用収入の額（平成28年度第1四半期）

実現収益額は123億円となり、総合収益額は、▲402億円となりました。

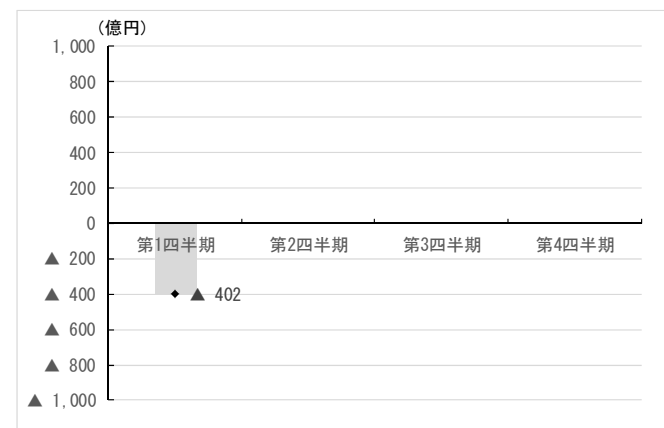
（単位：億円）

	平成28年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	123	—	—	—	123
総合収益額	▲402	—	—	—	▲402

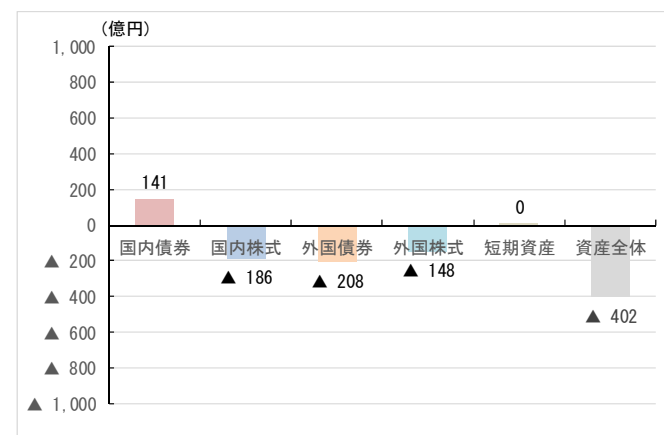
（単位：億円）

	平成28年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額	▲402	—	—	—	▲402
国内債券	141	—	—	—	141
国内株式	▲186	—	—	—	▲186
外国債券	▲208	—	—	—	▲208
外国株式	▲148	—	—	—	▲148
短期資産	0	—	—	—	0

- (注1) 収益額は、運用委託手数料控除後のものです。
 (注2) 総合収益額は、実現収益額に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。
 (注3) ヘッジ付き外貨建て債券は、リスク・リターン特性により、国内債券に含めています。
 (注4) 数値を四捨五入しているため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。
 (注5) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。



※棒グラフは、各四半期の期間収益額



※第1四半期の資産別の期間収益額



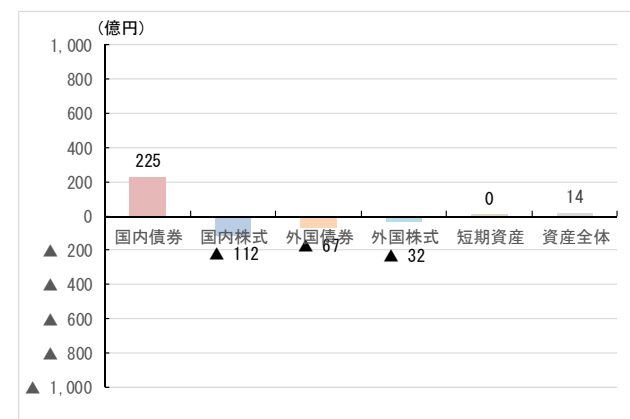
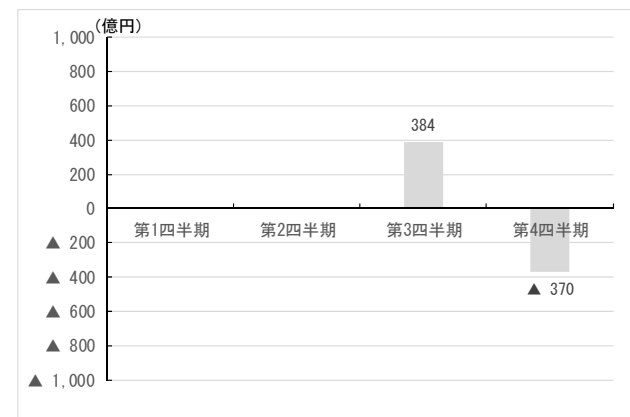
(参考) 運用収入の額 (前年度)

(単位：億円)

	平成27年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額			141	33	175
総合収益額			384	▲370	14

(単位：億円)

	平成27年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額			384	▲370	14
国内債券			48	177	225
国内株式			264	▲376	▲112
外国債券			▲35	▲32	▲67
外国株式			106	▲138	▲32
短期資産			1	▲0	0



- (注1) 収益額は、年金制度が厚生年金保険制度に一元化された平成27年10月以降のもので、
 (注2) 収益額は、運用委託手数料控除後のものです。
 (注3) 年度計は、平成27年度下半期の収益額です。
 (注4) 総合収益額は、実現収益額に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。
 (注5) ヘッジ付き外貨建て債券は、リスク・リターンの特性により、国内債券に含めています。
 (注6) 数値を四捨五入しているため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。



6 資産の額（平成28年度第1四半期）

（単位：億円）

	平成28年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価 損益	簿価	時価	評価 損益	簿価	時価	評価 損益	簿価	時価	評価 損益
国内債券	5,095	5,645	550	—	—	—	—	—	—	—	—	—
国内株式	2,124	2,428	304	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外国債券	2,392	2,376	▲16	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外国株式	1,349	1,748	399	—	—	—	—	—	—	—	—	—
短期資産	765	765	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	11,725	12,962	1,237	—	—	—	—	—	—	—	—	—

（注1） ヘッジ付き外貨建て債券は、リスク・リターンの特性により、国内債券に含めています。

（注2） 数値を四捨五入しているため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

（注3） 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

（注4） 各ファンドで保有する短期資産は、平成28年度から原則として該当する資産区分に計上しています。



(参考)資産の額 (前年度)

(単位：億円)

	平成27年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価 損益	簿価	時価	評価 損益	簿価	時価	評価 損益	簿価	時価	評価 損益
国内債券							5,305	5,641	336	5,381	5,815	434
国内株式							2,082	2,964	882	2,088	2,576	488
外国債券							2,350	2,613	263	2,371	2,556	185
外国株式							1,208	1,908	700	1,317	1,881	564
短期資産							893	894	1	801	801	0
合計							11,838	14,021	2,183	11,959	13,630	1,671

(注1) 資産額は、年金制度が厚生年金保険制度に一元化された平成27年10月以降のものです。

(注2) ヘッジ付き外貨建て債券は、リスク・リターン特性により、国内債券に含めています。

(注3) 数値を四捨五入しているため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

